平成26年度

事業計画及び収支予算書

自 平成26年4月1日

至 平成27年3月31日

公益財団法人高知市文化振興事業団

目 次

基	本方針1
事	業計画
1	自主文化事業計画2
(2) (3) (4) (5)	目標 1:優れた舞台芸術の提供による鑑賞者育成事業 目標 2 :芸術文化を創造する人材の支援・育成事業 目標 3 :市民参加による創造事業 目標 4 :学校・地域・他の文化施設との連携事業 顕彰事業 情報発信
2	高知市文化祭事業計画4
(2)	活動支援事業 文化祭開幕行事 高知市展
3	中央公民館事業計画5
(2)	生涯学習事業 高知市夏季大学 貸館事業
4	横山隆一記念まんが館事業計画6
(2) (3) (4) (5) (6)	企画展 第10回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」及び関連記念事業 『まんさい - こうちまんがフェスティバル2014』 まんが体験イベント 資料整理事業 「フクちゃん」作品集の出版 その他
5	高知市文化振興事業団 設立30周年記念事業8
6	職員の資質向上8
収支予	5 算書
収	支予算書 9
(2)	収支予算書 資金調達及び設備投資の見込み 資金収支予算書

平成26年度事業計画

基本方針

高知市文化振興事業団は,設立以来,高知市における文化振興の実質的な推進母体としての役割を果たしてきた。

高知市文化プラザかるぽーと開館以降は,高知市から中央公民館事業や横山隆一記念まんが館事業等を委託されたことにより,市民の多様な生涯学習活動を支えるとともに,高知のまんが文化振興の推進役として重要な役割も担なっている。

本年度は事業団設立30周年を迎える。節目の年を契機として,これまでの活動を振り返るとともに,設立趣意書に掲げられた「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」及び「高知の文化活動を活性化する推進母体」としての事業団の役割を再認識し,次の10年に向かって,平成24年4月に策定された高知市文化振興ビジョンとの整合性を図ることによって,文化の持つ新たな可能性を地域の活性化につなげることが重要となる。

以上のことから、次の基本方針によって平成26年度の各種事業の効果的な展開を図るものとする。

【平成26年度の基本方針】

1 自主文化事業

全ての市民が当たり前のものとして,芸術文化の鑑賞者や表現者・創作者として参加できる環境を提供することを目標に,演劇,音楽,美術等,高知が誇るべき芸術文化の普及・振興をさらに推進するとともに,鑑賞者,表現者・創作者の育成・支援を行う。

また,市民との協働を中心に,地域で活動する文化団体との連携を強化した事業を 実施し,文化振興ビジョンに掲げられた基本理念である「みんなで育む文化の力」の 実現を目指す。

2 文化祭事業

各種文化団体や市民に作品発表や公演機会を提供して,市民による文化活動を支援するとともに,芸術文化の鑑賞の機会を創造し,本市の文化の振興と向上を図る。

3 中央公民館事業

中央公民館の運営による多彩な生涯学習活動の場を提供することを通じて,市民による自発的な地域の活性化に結び付く取り組みを進める。

4 まんが館事業

横山隆一記念まんが館の運営やこうちまんがフェスティバル等のイベントの開催, 学校等との連携を通じて,まんが文化の振興と,まんが文化に関わる人材の育成に取り組む。

また,まんが王国・土佐推進協議会と連携し,「まんが王国土佐」の確立・強化に取り組むとともに,他のまんが施設との連携を視野に入れてまんが文化の活性化を進める。

5 高知市文化振興事業団 設立30周年記念事業 事業団の設立30周年事業として,記念事業,記念誌の作成等を実施する。

事業計画

1 自主文化事業計画

文化振興ビジョンに掲げられた「文化振興の具体的な進め方」との相関性を図りながら、高知市文化プラザ活性化計画に掲げた4つの目標に基づき、話題性や多様性のあるプログラムの提供を行っていく。

(1) 目標1:優れた舞台芸術の提供による鑑賞者育成事業

市民が優れた芸術文化に親しむ機会の充実を図るため,優れた舞台芸術を提供して市民の鑑賞要求に応えるとともに,舞台芸術に親しむ環境作りを通して鑑賞者の育成を図るため次の事業を実施する。

東京デスロック「タイトル未定」 26.7.18(金) 昨年,日本人として初めて韓国の東亜演劇賞を受賞した,気鋭の劇作家・演出家で ある多田淳之介率いる東京デスロックの高知初公演。同カンパニーとの共催。 ミュージカル「王様と私」(30周年記念事業) 26.7.26(土) 映画演劇文化協会との共催。松平健,紫吹淳,はいだしょうこ出演,東宝制作の本 格ミュージカル。 1966カルテット 26.9.12(金) クラシックテクニックをベースに洋楽アーティストをカバーする女性カルテット。 日本舞踊「弧の会」 26.10.4(生) 日本舞踊各流派11名の男性によるパフォーマンス。ワークショップも開催。自治総 合センター助成申請中。 ミュージカル「クリスマス・キャロル」(30周年記念事業) 26.11.21(金) 川島なお美,草刈正雄出演の子どもから大人まで楽しめるコメディミュージカル。 カンパニー・ロディージョ「人生の贈り物」 26.11予定 イタリアの児童劇団の高いクオリティーのパフォーマンス。関連事業としてワーク ショップも開催。芸術文化振興基金助成申請中。 南河内万歳一座「ジャングル」 26.12.20-21(土・日) 関西小劇場界の雄,南河内万歳一座の6度目の高知公演。同カンパニーとの共催。

(2) 目標2:芸術文化を創造する人材の支援・育成事業

芸術創造活動の充実と人材育成を図るため,活動の場を提供するなど芸術文化を創造する人材の支援育成を図るため次の事業を実施する。

造する人材の支援育成を図るため次の事業を実施する。	
高知の演劇推進プログラム	26.10.18-19(土・日)
一線で活躍する演出家・俳優を招き,高知の演劇団体	の選抜メンバーとの協働で演
劇制作とワークショップを行う。地域創造助成事業。	
第10回美術作品コンクールConcours des Tableaux	27.1.20-25 (火~日)
& 前年度最優秀受賞者個展	26.12予定
地元の若手美術作家を支援するため,第10回美術	作品コンクールConcours des
Tableaux及び佐竹龍蔵 (前年度最優秀受賞者)展を開催	
美術作品コンクール 10周年記念美術対談	27.1予定
美術作品コンクール 10周年を記念して開催する現代	美術の対談。三菱UFJ信託地域
文化財団,朝日新聞文化財団助成申請中。	
ダンス活性化事業	27.1予定
中央で活躍するダンサーを迎え,地域交流プログラム	ムとワークショップ,作品発表
を行う。地域創造助成事業。	
美術アドバンスドセミナー	未定
経験者のスキルアップを目的に,第一線で活躍する表	芸術家を講師として県内外から
招き , 絵画 , 彫刻 , 陶芸等の分野から 1 ~ 2 講座を開催	崖する。
アーティストバンク	通年
地域で活動するアーティストのプロフィールや公演情	情報など <u>広く発信する。</u>

(3) 目標3:市民参加による創造事業

特色のある地域文化の振興と創造を図るため,市民一人ひとりが多様な文化に触れ, 創造に参画できる場を提供するため次の事業を実施する。

コンコ-ドジャズフェスティバル (共同主催事業) 26.5.27 (火) 「国際的な音楽交流を中心に高知を楽しくするプロジェクト」との共催。一流のジャズミュージシャン 3 組の競演。

 ワールドミュージックナイト (共同主催事業)
 26.6.4 (水)他

 「国際的な音楽交流を中心に高知を楽しくするプロジェクト」との共催。国内外の

│ さまざまなアーティストの演奏を楽しめる人気プログラム。 とさっ子タウン

26.8.16-17(土・日)

とさっ子タウン実行委員会との共催。小学4年生から中学3年生を対象に仮想のまちで仕事を覚え,働き,学び,楽しみながら社会の仕組みを学ぶプログラム。

レクチャーコンサートシリーズ ワールドミュージックジャーニー (共同主催事業)

26.9.6(土)

「国際的な音楽交流を中心に高知を楽しくするプロジェクト」との共催。国際的な音楽評論家ピーターバラカン氏を招き,テーマに沿ったレクチャーコンサートを行う。

高知街ラ・ラ・ラ音楽祭

26.9.14(日)

「高知街ラ・ラ・ラ音楽祭実行委員会」との共催による街角音楽イベント

(4) 目標4:学校・地域・他の文化施設との連携事業

子どものための豊かな芸術環境づくりを目指すため、子どもを対象とした事業を実施するともに、学校への芸術家の派遣やアウトリーチ事業による芸術プログラムを提供する。また、市民による自由で多種多様な文化活動の一層の活性化を図るため、地域の文化団体等と連携事業を実施する。

キッズフリーマーケット 26.7.6(日)

売るのも買うのも子どもたちで行うフリーマーケット。4年目となる今回は ,地域企業との連携を図る。

画樂・藁工ミュージアム連携企画「LIBIDO」(30周年記念事業) 26.9.5-14(金~日) 「LIBIDO」実行委員会との共催。地域で障害者アートに取り組む2施設との協働で,全国

__| 規模のアールブリュット展覧会を開催。 キラリーふじみ・レパートリー「mother-river homing」 27.2.5(木)

埼玉県富士見市において先進的な取り組みを続けいている公共ホール"キラリ ふじみ"との協働で,同劇場の劇団田上パルの作品を上演。

劇団四季公演(市内小学生無料招待)

27.2.25-26(水・木)

劇団四季との共同主催事業として行う市内の小学 6 年生を対象とした無料公演。学校教育課と協力して開催する。

高知の音楽活性化事業「よんでんアンサンブル」

27.3.7(土)

学校や施設での地域交流プログラムと大ホールでの公演。出演者は,四国出身の有望な若手演奏家で構成されたよんでんアンサンブル。よんでん文化振興財団助成事業。

かるぽーと大階段コンサート

かるぽーとの指定管理者・高知市文化プラザ共同企業体の事業への連携・協力

(5) 顕彰事業

「写真コンテスト・高知を撮る」は、一層の新規応募者開拓に努める。

高知出版学術賞も優れた学術研究の顕彰事業として重要度が増しており,賞の周知と出版情報の収集に努める。また,事業団設立30周年を契機として,同賞に特別賞を設ける。

(6) 情報発信

機関誌『文化高知』や「年間行事案内」の発行,ホームページの更新,高知市広報『あかるいまち』や地元情報誌の告知枠,マスコミへの取材依頼による告知記事など

を通して,かるぽーとや事業団の情報を広く周知し,文化事業の周知に努める。

2 高知市文化祭事業計画(受託事業)

市民の文化活動を支援する高知市文化祭事業は,本年度第66回を迎える。高度経済成長とともに数々の文化グループが生まれ活発な活動を展開してきたが,近年の経済の低迷や高齢化等の影響により活動の停滞傾向が見られる。

本市に息づく貴重な文化を守り育てながら次世代を担う子どもたちに継承し,地域の 絆を強めることが活力あるまちづくりに繋がることから,各種の市民文化団体との協 働・連携を基に,市民文化を発展・継承し,心の豊かさを生み出すための取り組みを継 続的に進めていく。

(1) 活動支援事業

ここ数年高知市文化祭への参加行事は微減傾向が続いていたが,前年度は件数が若干の増加となった。将来的な文化祭の活性化に向けて,平成26年度の参加団体との連携を強化するとともに,新進文化団体などの情報収集に努め,本事業の周知を図り参加を呼びかけていく。

(2) 文化祭開幕行事

本年度は高知市文化協会に委託し,4月13日(日)に高知フライデー・ウインド・アンサンブルによる「子どもたちと楽しむ音楽会」を上演する。吹奏楽を中心とした舞台で,劇団シャカカ(しゃかりき)のお芝居と歌,ナレーションと合唱による「銀河鉄道の夜」,地元の坪内春美(ソプラノ)をゲストにしたコンサートの3部からなる。子どもたちと大人が共に楽しめ,創造的な音楽芸術に触れる場を提供する。

(3) 高知市展

5月24日(土)から6月8日(日)まで開催される本年度の市展は,アンデパンダン方式により発表・鑑賞だけでなく研究の場としての役割,体験の機会の提供に一層努め,「市民の美術の広場」としての役割を果たしていく。

関連イベントとして,6月1日(日)に小中高生を対象とした美術体験イベント「あなたダビンチ ぼくピカソ」を開催する。

3 中央公民館事業計画(受託事業)

これまでの事業を継続しながら,市教育委員会と綿密に連携をとり,事業の円滑な推進や事業内容の質的向上に努める。

(1) 生涯学習事業

市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応しつつ,社会教育,生涯学習に求められるものを把握し,現代的課題に対応できるよう各種講座に取り組み,多様な学習機会の提供に努める。

講 座 名	備考
市民学校(春・秋・年末特別・作品展)	
市民講座(初夏・秋冬)	
いきいきセカンド ライフ講座(前後期各3コース)	旧高齢者教室
高知市民の大学(75期・76期,各2コース)	
市民映画会(3回)	
高知市民頭脳スポーツ大会(5競技)	

(2) 第64回高知市夏季大学

平成26年度は7月28日(月)から8月8日(金)の10日間, 開講する。

政治,経済,文化,健康,福祉等,各分野の第一線で活躍する方を講師として招き, 現代社会のさまざまな問題を読み解く一助となる講演を提供する。

(3) 貸館事業

中央公民館の立地特性,活用実態等を考慮し,社会教育施設として設置目的に沿う範囲内で貸館基準を見直し,市民の生涯学習の中核拠点としての利活用の促進を目指す。

また,かるぽーと大小ホール・ギャラリー等との併用利用については,指定管理者 と連携して利用者の利便性を図る。

4 横山隆一記念まんが館事業計画(受託事業)

まんが館の設立目的は,横山隆一の業績を広く顕彰し,高知にゆかりのまんが家作品を後世に伝えるとともに,様々なプログラムにより,市民がまんが文化に親しみ,ユーモア精神に触れ,ゆとりと交流を楽しみながら,知的・創造的な刺激を受ける場を提供することにある。この目的を果たすため,常設展示をはじめ,以下のような事業を行う。

(1) 企画展

横山隆一記念まんが館の収蔵品や研究成果を発表するとともに,国内外のまんが文化を広く紹介するという方針のもとに,関係機関との連携や地元高知のまんが家の作品等も広く紹介する企画展を実施する。

2014 高知のまんがあれこれ展

4.26(土)~ 6.1(日)

「まんが甲子園」や「黒潮マンガ大賞」など,高知のまんがコンテストの前年度入 賞作品の紹介や,まんがを用いた県内の活動等を紹介展示。高知に根付く,まんが文 化の「今」を幅広く紹介する。

4コマまんが大賞10回記念作品展(仮称)

6.28(土)~ 8.31(日)

平成17年度に創設された,まんがの日記念「4コマまんが大賞」公募が10回を迎えるにあたり,1~9回までの入賞作品を一堂に展示し「4コマまんが」の普及・周知に努める。

忍たま乱太郎ミュージアム

10.~11.予定

NHK Eテレのテレビアニメ「忍たま乱太郎」は,放送20年目を迎えた長寿番組であり,この「忍たま」の世界を,絵本原画,アニメのセル画,刀,手裏剣などにより工夫を凝らして展示し,児童文学の魅力と忍者の世界を親子で楽しみながら学べる展覧会を開催する。

まんがの日記念・4コマまんが大賞作品展

12月13日(土)~1月下旬

「第10回まんがの日記念4コマまんが大賞」の入賞作品や一次通過作品等を展示し,シンプルな形態の中にも,面白くかつ奥深い4コマまんがの世界を楽しんでもらう。 来館者の投票による「ギャラリー賞」も実施予定。

まんが・漫画・マンガ展!2015

2.下旬~3.下旬

地元のまんが活動を支援することを目的に,高知で活躍するまんがグループ「高知漫画集団」と「高知漫画グループくじらの会」の新作発表の場を提供。

描き下ろし競作の合同テーマも設定。

(2) 第10回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」及び関連記念事業

横山隆一が4コマまんがの名手であったことから,全国でも珍しい4コマまんがに限定したまんが賞を平成17年度に創設。本年度で10回目となるため,通常の募集事業に加えて記念事業を行い,まんがの原点である4コマまんがの普及・周知に努める。

作品募集 募集期間: 4.18(金)~9.9(火)

ジュニア(小学生以下)、一般(中学生以上)の2部門での募集を行う。

式 11. 1 (土)

「まんさい‐こうちまんがフェスティバル2014」で行う予定

4 コマまんが大賞作品展(再掲)

12月13日(土)~1月下旬

「4コマまんが大賞」の入賞作品や一次通過作品等の展示。

関連記念事業

4コマまんが大賞10回記念作品展(仮称)

6.28(土)~ 8.31(日)

過去第1回~9回までの受賞作品を中心に記念展を開催(前記(1)の再掲)

4 コマまんが大賞10回記念誌の発行

第10回までの受賞作品,講評,応募状況などをまとめた記念誌を制作し,これまで の歩みを記録として残していく。

4コマまんが教室

4コマまんがの楽しさや表現の方法などを学ぶまんが教室を開催する。講師は4コマ大賞審査員の矢野徳先生・くさか里樹先生を予定。

(3) 『まんさい‐こうちまんがフェスティバル2014』

まんさい - こうちまんがフェスティバル2014

11.1(土)・2(日)

11月3日の「まんがの日」にちなみ今年で12回目となる「まんさい - こうちまんがフェスティバル2014」を実施する。子どもから大人まで,見て,描いて,遊べるをテーマとした,中四国最大級のまんが・アニメの祭典。まんがグッズづくりから,声優トークショーやアニソンライブまで,さまざまなコーナーを展開。市民参加型の実行委員会が中心となり企画・運営を行う。

高知市の東西軸エリア活性化プラン事業の予算も加わり,中心商店街活性化事業としてスタンプラリーの実施等により,「まんが王国・土佐」の受け皿作りの一翼も担っていく。

こまんさい(関連事業)

3月上旬開催予定

春先恒例の観光イベント「土佐のおきゃく」において「こまんさい」と題して,まんさいの関連イベントを実施する。

(4) まんが体験イベント

子どもたちにまんがに親しんでもらうため,まんが風鈴,まんが万華鏡や缶バッジ等,まんがを用いて工作する機会を提供する体験イベントを夏休みや冬休みに行い,まんが文化の担い手を育てる。

(5) 資料整理事業

横山家から寄贈された約40,000点の資料の整理・保存を行うほか,新聞の切り抜き・ チラシ・パンフ等まんが関連資料の整理・保存及びデータのシステム入力と新規収蔵 品の整理を行う。

(6) フクちゃん作品集の出版

現在絶版となっているフクちゃんの作品集を単行本とし出版し,市内書店で販売するとともに,市内小学校の図書室に寄贈して子どもたちにもフクちゃんに親しんでもらう。内容は常設展示のフクちゃんカレンダー366点を使用する予定。

(7) その他

館報『FUKU-FUKU』と年報の発行。

ホームページ,高知市や事業団広報枠の活用及び各情報誌等での広報活動の他,まんが館事業の情報発信を図るため文化・観光施設等とも連携を図る。

新聞学芸欄等へのまんが文化に関する文章の掲載や,講演・講座の実施。

来館者増につながる観光イベントへの積極的な参加。

全国のまんが及び博物館関係の研修会や連絡会への参加。

学芸員実習生等の受け入れ。

5 高知市文化振興事業団 設立 30 周年記念事業

事業団の設立30周年事業として,記念事業,記念誌の作成等を実施する。

記念事業の実施に当たっては,自主文化事業費,文化事業寄附金,繰越収支差額等を 充当する。

自主文化事業

- ・ミュージカル「クリスマス・キャロル」
- ・ミュージカル「王様と私」
- ・画樂・藁工ミュージアム連携企画「LIBIDO」
- ・出版学術賞特別賞の創設

まんが館事業

「フクちゃん」作品集の出版(市内小学校への寄贈,書店販売)

30周年記念誌の発行,祝賀会開催

設立30周年の節目にこれまでの活動を振り返るとともに,設立趣意書に掲げられた「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」及び「高知の文化活動を活性化する推進母体」としての事業団の役割を再認識し,次の10年に向かって,文化の持つ新たな可能性を地域の活性化につなげるための方向性を考える重要な契機とする。

6 職員の資質向上

文化振興ビジョンにおいても,文化振興事業団ならではのネットワークを活用した市民ニーズや文化活動についての情報収集・発信や,「芸術文化を通じた地域づくり」を視野に入れた,教育・福祉・まちづくりなどのさまざまな分野との連携等を通じた市民や団体,行政等をつなぐ「文化の協働」を進める先導的役割が期待されている。こうした役割を着実に担うため,職員の一層の資質の向上に取り組むことが必要となる。

このため、職員にマネジメント能力、文化事業の企画・立案能力等の習得をさせるため、今年度から新たに職員を研修機関、文化団体等に派遣する。

また,まんが館については県内外の文化施設との情報交換や交流,各種の研修への参加による人材育成を行う。日本マンガ学会,日本漫画家協会,日本博物館協会等,所属する団体での活動を通じて,まんがに関する研究を深め,関連団体等との連携を図り,まんが館事業のさらなる充実を図っていく。

収支予算書 平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位:円)

			(単位:円)
科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
1 NEC 111 5 E1 10/20 5 2 E15			
(1)経常収益			
基本財産運用益	2,000	5,000	-3,000
基本財産運用利息	2,000	5,000	-3,000
			C
事業収益	150,316,000	145,537,659	4,778,341
文化事業収益	13,920,000	8,029,000	5,891,000
文化事業収益	12,247,000	5,617,000	6,630,000
まんが館事業収益	1,490,000	2,229,000	-739,000
賛助会費収益	170,000	170,000	C
出版物壳払収益	13,000	13,000	C
文化事業受託収益	136,396,000	137,508,659	-1,112,659
高知市文化祭事業受託収益	6,644,000	6,242,000	402,000
中央公民館事業受託収益	47,234,000	45,464,000	1,770,000
まんが館事業受託収益	51,748,000	52,643,659	-895,659
運営管理受託収益	30,770,000	33,159,000	-2,389,000
			C
受取補助金等	57,840,000	50,271,000	7,569,000
受取地方公共団体補助金	56,240,000	50,271,000	5,969,000
財団管理運営補助金	4,366,000	4,243,000	123,000
文化事業補助金	43,123,000	36,980,000	6,143,000
文化活動等助成事業補助金	8,751,000	9,048,000	-297,000
受取民間助成金	1,600,000	0	1,600,000
事業助成金	1,600,000	0	1,600,000
			C
受取寄付金	10,000	10,000	C
文化事業寄付金	10,000	10,000	(
文化事業寄付金	10,000	10,000	(
			(
雑収益	1,531,000	1,513,000	18,000
雑収益	1,531,000	1,513,000	18,000
運営管理事業雑収益	105,000	5,000	100,000
中央公民館実習材料販売等雑収益	1,416,000	1,498,000	-82,000
まんが館事業雑収益	10,000	10,000	(
		,	(
経常収益計	209,699,000	197,336,659	12,362,341

収支予算書 平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

	科 目	当年度	前年度	増減
	(2)経常費用			
	事業費	207, 453, 000	193, 076, 659	14, 376, 341
	役員報酬	1, 576, 000	1, 572, 000	4,000
	給料	41, 969, 000	42, 481, 000	-512,000
	手当	25, 816, 000	29, 365, 000	-3, 549, 000
	· 賃金	15, 048, 000	17, 127, 208	-2, 079, 208
	福利厚生費	17, 619, 000	18, 744, 658	-1, 125, 658
	食糧費	636, 000	293, 000	343, 000
	旅費交通費	5, 151, 000	3, 823, 000	1, 328, 000
	and the second s			
	通信運搬費	2, 653, 000	2, 727, 000	-74, 000
	減価償却費	1, 245, 000	400, 000	845, 000
	消耗品費	2, 366, 000	2, 662, 000	-296, 000
	修繕費	796, 000	816, 000	-20, 000
	印刷製本費	7, 136, 000	4, 346, 000	2, 790, 000
	燃料費	125, 000	168, 000	-43, 000
	賃借料	12, 918, 000	4, 682, 000	8, 236, 000
	広告宣伝費	2, 010, 000	1, 338, 000	672, 000
	保険料	535, 000	353, 000	182,000
1	委託費	38, 318, 000	30, 948, 000	7, 370, 000
	諸謝金	18, 668, 000	19, 737, 000	-1,069,000
	租税公課	5, 550, 000	4, 334, 793	1, 215, 207
	負担金	6, 501, 000	6, 381, 000	120, 000
	雑費	817, 000	778, 000	39, 000
	/// ru #1.			1 150 000
1	管理費	5, 536, 000	4, 360, 000	1, 176, 000
	役員報酬	2, 793, 000	2, 793, 000	0
	給料	424, 000	429, 000	-5, 000
	手当	678, 000	304, 000	374, 000
	賃金	95, 000	99, 000	-4,000
	福利厚生費	914, 000	502,000	412,000
	交際費	0	30,000	-30,000
	通信運搬費	80,000	44,000	36,000
	減価償却費	11,000	0	11,000
	消耗品費	16, 000	10,000	6,000
	修繕費	10, 000	0	10,000
	印刷製本費	69, 000	68,000	1,000
	燃料費	5, 000	00,000	5, 000
	賃借料	230, 000	ő	230, 000
	保険料	11, 000	0	11, 000
		92, 000	0	92,000
	委託費		-	
	諸謝金	33,000	9,000	24, 000
	租税公課	3,000	3,000	0
1	負担金	66,000	66, 000	0
	維費	6, 000	3, 000	3, 000
1	経常費用計	212, 989, 000	197, 436, 659	15, 552, 341
1	当期経常増減額	-3, 290, 000	-100, 000	-3, 190, 000
	2 経常外増減の部			
1	(1)経常外収益			
1	経常外収益計	0	0	0
1	(2)経常外費用			
	経常外費用計	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
1	当期一般正味財產増減額	-3, 290, 000	-100, 000	-3, 190, 000
1	一般正味財産期首残高	56, 639, 875	51, 491, 242	5, 148, 633
	一般正味財産期末残高	53, 349, 875	51, 391, 242	1, 958, 633
П	指定正味財産増減の部	0	0	0
Ш	正味財産期末残高	53,349,875	51,391,242	1,958,633

収支予算書内訳表 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

	 科 目	公益目的事業	法人会計	(単位·円) 合計
H	一般正味財産増減の部			
	1 経常増減の部 (1) 経常収益			
	基本財産運用益	0	2,000	2,000
	基本財産受取利息	0	2,000	2,000
	基本財産受取利息	0	2,000	2,000
	_ , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,	,
	事業収益	150, 316, 000	0	150, 316, 000
	文化事業収益	13, 920, 000	0	13, 920, 000
	文化事業収益	12, 247, 000	0	12, 247, 000
	まんが館事業収益	1, 490, 000	0	1, 490, 000
	賛助会費収益	170, 000	0	170, 000
	出版物売払収益	13, 000	0	13, 000
	文化事業受託収益	136, 396, 000	0	136, 396, 000
	高知市文化祭事業受託収益	6, 644, 000	0	6, 644, 000
	中央公民館事業受託収益	47, 234, 000	0	47, 234, 000
	まんが館事業受託収益	51, 748, 000	0	51, 748, 000
	運営受託収益	30, 770, 000	0	30, 770, 000
	受取補助金等	53, 474, 000	4, 366, 000	57, 840, 000
	受取地方公共団体補助金	51, 874, 000	4, 366, 000	56, 240, 000
	財団管理運営補助金	0	4, 366, 000	4, 366, 000
	文化事業補助金	43, 123, 000	0	43, 123, 000
	文化活動等助成事業補助金	8, 751, 000	0	8, 751, 000
	受取民間助成金	1,600,000	0	1,600,000
	事業助成金	1,600,000	0	1,600,000
	受取寄付金	0	10,000	10,000
	文化事業寄付金	0	10, 000	10,000
	文化事業寄付金	0	10,000	10,000
	雑収益 ************************************	1, 526, 000	5,000	1, 531, 000
	雑収益	1, 526, 000	5,000	1,531,000
	運営事業雑収益	100,000	5,000	105, 000
	中央公民館実習材料販売等雑収益	1, 416, 000	0	1, 416, 000
	まんが館事業雑収益	10, 000	0	10, 000
	経常収益計	205, 316, 000	4, 383, 000	209, 699, 000
		200, 310, 000	7, 505, 000	200, 000, 000

	科 目	公益目的事業	法人会計	合計
	(2)経常費用	-		
	事業費	207, 453, 000	0	207, 453, 000
	役員報酬	1, 576, 000	0	1,576,000
	給料	41, 969, 000	0	41, 969, 000
	手当	25, 816, 000	0	25, 816, 000
	賃金	15, 048, 000	0	15, 048, 000
	福利厚生費	17, 619, 000	0	17, 619, 000
	食糧費	636, 000	0	636, 000
	旅費交通費	5, 151, 000	0	5, 151, 000
	通信運搬費	2, 653, 000	0	2, 653, 000
	減価償却費	1, 245, 000	0	1, 245, 000
	消耗品費	2, 366, 000	0	2, 366, 000
	修繕費	796, 000	0	796, 000
	印刷製本費	7, 136, 000	0	7, 136, 000
	燃料費	125, 000	0	125, 000
	賃借料	12, 918, 000	0	12, 918, 000
	広告宣伝費	2, 010, 000	0	2, 010, 000
	保険料	535, 000	0	535, 000
	委託費	38, 318, 000	0	38, 318, 000
1	諸謝金	18, 668, 000	0	18, 668, 000
	租税公課	5, 550, 000	0	5, 550, 000
	負担金	6, 501, 000	0	6, 501, 000
	雑費	817, 000	0	817, 000
	7.50			
	管理費	0	5, 536, 000	5, 536, 000
	役員報酬	0	2, 793, 000	2, 793, 000
	給料	0	424, 000	424, 000
	手当	0	678, 000	678, 000
	賃金	0	95, 000	95, 000
	福利厚生費	0	914, 000	914, 000
	通信運搬費	0	80,000	80,000
	減価償却費	0	11,000	11,000
	消耗品費	0	16, 000	16,000
	修繕費	0	10,000	10,000
	印刷製本費	0	69, 000	69, 000
	燃料費	0	5,000	5,000
	賃借料	0	230, 000	230, 000
	保険料	0	11,000	11,000
	委託費	0	92,000	92,000
1	諸謝金	0	33, 000	33,000
	租税公課	0	3, 000	3,000
	負担金	0	66, 000	66, 000
	維費	0	6, 000	6,000
	経常費用計	207, 453, 000	5, 536, 000	212, 989, 000
	当期経常増減額	-2, 137, 000	-1, 153, 000	-3, 290, 000
	2 経常外増減の部			
	(1)経常外収益			
	経常外収益計	0	0	0
	(2)経常外費用 経常外費用計		0	0
	おおいます。 当期経常外増減額	0	0	0
	当期一般正味財産増減額			-3, 290, 000
1	一般正味財産期首残高			56, 639, 875
	一般正味財産期末残高			53, 349, 875
П	指定正味財産増減の部			0
Ш	正味財産期末残高			53,349,875

資金調達及び設備投資の見込みについて 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

1. 資金調達の見込みについて

期中に借り入れの予定はありません。

2. 設備投資の見込みについて

期中に重要な設備投資(除却または売却を含む)の予定はありません。

以上

資金収支予算書 平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

1 収入の部 (単位:円)

科 目	当年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備考
1 基本財産運用収入	2,000	5,000	-3,000	
1 基本財産運用収入	2,000		-3,000	
1 基本財産利息	2,000	5,000	-3,000	
2 事業収入	150,416,000	145,537,659	4,878,341	
1 文化事業収入	13,920,000	8,029,000	5,891,000	
1 文化事業収入	12,247,000	5,617,000	6,630,000	
2 まんが館事業収入	1,490,000	2,229,000	-739,000	
3 賛助会費収入	170,000	170,000	0	
4 出版物売払収入	13,000	13,000	0	
2 文化事業受託収入	136,496,000	137,508,659	-1,012,659	
1 高知市文化祭事業受託収入	6,644,000	6,242,000	402,000	
2 中央公民館事業受託収入	47,234,000	45,464,000	1,770,000	財団職員人件費含む
3 まんが館事業受託収入	51,748,000	52,643,659	-895,659	IJ
4 運営受託収入	30,870,000	33,159,000	-2,289,000	II
3 補助金収入	57,840,000	50,271,000	7,569,000	
1 地方公共団体補助金収入	56,240,000	50,271,000	5,969,000	
1 財団管理運営補助金収入	4,366,000	4,243,000	123,000	IJ
2 文化事業補助金収入	43,123,000	36,980,000	6,143,000	IJ
3 文化活動等助成事業補助金収入	8,751,000	9,048,000	-297,000	IJ
2 民間助成金収入	1,600,000	0	1,600,000	
1 事業助成金	1,600,000	0	1,600,000	
4 寄付金収入	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	0	
5 雑収入	1,531,000	1,513,000	18,000	
1 雑収入	1,531,000	1,513,000	18,000	
1 運営管理事業雑収入	105,000	5,000	100,000	
2 中央公民館実習材料販売等雑収入	1,416,000	1,498,000	-82,000	
3 まんが館事業雑収入	10,000	10,000	0	
当期収入合計 (A)	209,799,000	197,336,659	12,462,341	
前期繰越収支差額	19,535,556	17,721,360	1,814,196	
合 計 (B)	229,334,556	215,058,019	14,276,537	

資金収支予算書 平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

2 支出の部 (単位:円)

2 支出の部				(単位:円)
科目	当年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備考
┃ ┃ 1 事業費支出	206, 148, 000	192, 676, 659	13, 471, 341	
では、	1, 576, 000	1, 572, 000	4,000	
給料支出	41, 969, 000	42, 481, 000	-512, 000	
手当支出	25, 816, 000	29, 365, 000	-3, 549, 000	
チョメロ 賃金支出	15, 048, 000	17, 127, 208	-2, 079, 208	
福利厚生費支出	17, 619, 000	18, 744, 658	-1, 125, 658	
食糧費支出	636, 000	293, 000	343, 000	
於種質文山 旅費交通費支出	5, 151, 000	3, 823, 000	1, 328, 000	
通信運搬費支出				
	2, 653, 000	2, 727, 000	-74, 000	
消耗品費支出 (な選典表出	2, 366, 000	2, 662, 000	-296, 000	
修繕費支出	796, 000	816, 000	-20, 000	
印刷製本費支出 燃料費支出	7, 076, 000	4, 346, 000	2, 730, 000	
77 1 7 2 1 2 1 7	125, 000	168, 000	-43, 000	
賃借料支出	12, 918, 000	4, 682, 000	8, 236, 000	
広告宣伝費支出	2, 010, 000	1, 338, 000	672, 000	
保険料支出	535, 000	353, 000	182,000	
委託費支出	38, 318, 000	30, 948, 000		
諸謝金支出	18, 668, 000	19, 737, 000		
租税公課支出	5, 550, 000	4, 334, 793	1, 215, 207	
負担金支出	6, 501, 000	6, 381, 000	· ·	
雑費支出	817, 000	778, 000	39, 000	
2 管理費支出	5, 525, 000	4, 360, 000	1, 165, 000	
2	2, 793, 000	2, 793, 000	0	
給料支出	424, 000	429, 000	-5,000	
手当支出	678, 000	304, 000	· ·	
賃金支出	95, 000	99, 000		
福利厚生費支出	914, 000	502, 000	412,000	
交際費支出	0	30,000	· ·	
通信運搬費支出	80,000	44,000	36,000	
消耗品費支出	16,000	10,000	6,000	
修繕費支出	10,000	0	10,000	
印刷製本費支出	69, 000	68,000	1,000	
燃料費支出	5,000	0	5,000	
賃借料支出	230, 000	0	230, 000	
保険料支出	11, 000	0	11, 000	
委託費支出	92,000	0	92, 000	
諸謝金支出	33, 000	9,000	24, 000	
租税公課支出	3,000	3,000	0	
負担金支出 	66,000	66, 000	2 000	
雑費支出	6,000	3, 000	3, 000	
3 予備費支出	100,000	100,000	0	
予備費支出	100,000	100,000	0	
₩ 7 		105 105 55		
当期支出合計(C)	211,773,000	197,136,659	14,636,341	
当期収支差額 (A)-(C)	-1,974,000	200,000	-2,174,000	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	17,561,556	17,921,360	-359,804	